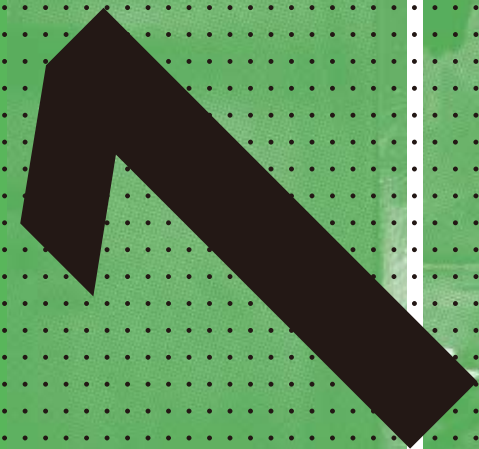


- 自分らしい住まいが欲しい
- ありきたりでない仕事場をつくりたい
- そんなあなたに ACB



家 庭 訪 問

常廣邸@大阪市北区

夫 | 尚平さん(38) 妻 | 育子さん(40)

特集 10年後のリノベーション

クラフトシリーズとは

アートアンドクラフトではまだリノベーションという言葉が一般的でなかった1998年から、リノベーションのさまざまな可能性やスタイルをケーススタディとして提案しています。

10年前、「クラフトアパートメント北区天満」としてアートアンドクラフトがリリース。約70㎡の空間を、廊下のない1LDK+WIC+広々とした3点バスルームにリノベーションしています。そんなこの家は、今の住まい手、常廣さんが住むまでに2回に渡って住み手が変わりました。今や流行と言ってもよいほどメジャーになったリノベーションですが、時間がたてば飽きがくるのか!? リノベーションの10年後の家はどうなっているのか!? 検証するべく、常廣邸を訪ねました。



アートアンドクラフト(以下A&C) | チークのフローリング、きれいに使っていたみたいですネ!

尚平さん | 入居前に蜜蝋を1回塗っただけなんですけどね。

育子さん | リモコンを落としたりしているんですが、あまり傷だらけにならないです。フローリングの床は涼しい気がして湿気もあまり感じないし、冬はあったかです。

A&C | 快適に住んでいただけているようでよかったです! さて、お二人は「リノベーション済み」の住まいを選ばれましたが、そのきっかけは?

尚平さん | とくにリノベーションをしようという気はなく、そろそろ新しい居場所が欲しかったんです。実は当時、中津にある中古物件の購入を検討

していました。そのことはよく印象に残っています。ロフト付きの車庫がついていたんです。

育子さん | でも前に住んでいた人の家具が置いてあったせいか、なんとなくこの通りに住まないといけないのかな、という気になって気が進まなかったんです。トイレも狭くて。そのときにA&Cから部分的にリノベしては? という提案があって。でも結局、売りやめになってしまったんです。...それからほどなくして、この今住んでる家のことを知って、すぐ見に行きました。職場近い、実家近い、とにかく場所がよい。広くて住みこなせるかどうかという点が心配でしたが、実際に見ると圧迫感がなく快適でした。自分たちの思うようにリノベしたいと思うほど、こんな家がいい! というイメー

ジがない自分たちにはぴったりはまりました。

尚平さん | 造りつけの棚などが何も無かったので、theハコ!というつくりがよかったんです。つくり込んである部屋だったら買わなかっただろうし、やるなら自分たちでゼロからやりたい。新築はまったく考えていませんでした。総額が一緒なら中古+リノベーションのほうがよいと思っていました。以前、賃貸で公団に住んでいたのですが、ひとつ全く使わない部屋があって、一つ一つの部屋が分かれていても、使い方次第では不必要。今の住まいは、ドアを開けたり閉めたり、あっちの部屋行って何したり、というのがなくてよいですね。

育子さん | ダクトレールに付いている照明を動かし

ヒストリー | History

1981年3月築のマンションの一角をA&Cがリノベーション、「クラフトアパートメント北区天満」としてリリースしたのが2003年3月でした。伊東さんが購入されました後、すぐに海外赴任となり、今高さんが賃貸で住まれます。その後、日本に戻られた伊東さんから引き継ぐかたちで常廣さんが購入されました。



2003年にリリースした「クラフトアパートメント北区天満」。そこでA&Cが提案していたことは今も機能しているのでしょうか。03年リリース時の宣伝文句を確かめながら、ひとつひとつ常廣さんと検証しました。



大きな一部屋

「03年」 | 寝室からクローゼットを通過してバスルームに行くことができる動線は、とても便利。特に寝室とクローゼットの間には扉がありません。

検証→よい。行き来する場合、リビングに寄り道することが多いが、普通は廊下を通過してあっちへ行きこっちへ行きしなければならないと思うと、コンパクトで使いやすい。



見直したい建具「引戸」

「03年」 | 日本の知恵と文化を感じる「引戸」を採用。開閉する幅を調整することで、空間をそのときの状況に合わせた仕切り方が可能です。

検証→ドアだと開閉時に家具にぶつかるので、引戸でよかった。ここもクーラーを使うときに閉めるくらい。

検証！「Crafts apartment®6」の

10年後



光と風が通る小窓



「03年」 | 小窓は壁面のアクセントになるだけでなく、開閉可能とすることで、クローゼットの換気にも一役かいます。

検証→実はいつも閉じている。というのは他の扉をすべて開けているから。光を通す、壁面のアクセントとしての役割は果たしている。

バスルーム

スロー・天神ハイム



「03年」 | 浴室・洗面・トイレ等の水まわりを、「一つの部屋」と考えて設計しました。機能以外の遊びのある空間になっています。

検証→一つの部屋として、扉をオープンにしてとてもうまく使っている。お互いがトイレを使っているとお風呂を使っているように、とくに気にせず歯を磨いたり、自分のことをしている。

キッチン & カウンター



「03年」 | エントランスからキッチンカウンターが丸見えの大胆なプラン。少し抵抗を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、軽い食事やちょっとお酒を飲むスペースって欲しいと思いませんか？

検証→カウンターとしてはあまり使わない。一度試してお酒を飲んでみたが、電球が暑かった。そもそも普段あまりお酒を飲まないのです。エントランスからキッチンが丸見えなところは、とくに抵抗を感じたことはない。

て、各々の場所を照らすことができるところも気に入っています。同じ部屋で別々のことをしていても気にならない。

A&C | オープンな空間での生活スタイルがばちとはまったのですね。家で普段はどんな風に過ごされていますか？

育子さん | 家の中で過ごすときはごろごろしています。

尚平さん | そうですね、同じくごろごろするか、休みの日は出かけることが多く和歌山でシーカヤックをしています。

育子さん | 仕事が終わったら一緒に家に帰っているので、24時間一緒にいることになりますね。ここに引っ越してきてから喧嘩がなくなりました。

これだけオープンな間取りで暮らしていますが、とくにひとりきりになりたいとかもない。(尚平さんは)目の前の公園にたまに走りに行ったり、一人になりたいときはベンチに座って、缶コーヒーを飲みながらタバコを吸ってるよね(笑)

A&C | 24時間一緒に、喧嘩がないってすごいですね！

尚平さん | 二人とも家業の飲食店で働いているのですが、会社勤めだったら一人になりたいこともあったかもしれないですね。

A&C | 快適に過ごされている様子ですが、家の中で気に入らないところは？

育子さん | 慣れるまではトイレが広すぎて落ち着かなかったかな。今ではトイレを使っているとき

も開けっぱなし、横で平気で歯を磨いたりしています。

尚平さん | 外でもたまに閉め忘れることがありますね(笑)。

A&C | オープンな生活スタイルがお二人の仲の良さに影響しているのかもしれませんが、さて、不動産の選択肢は「新築」「中古購入+リノベーション」と、ますます多様になってきました。先輩として一言どうぞ！

尚平さん | 耐震がどうしても気になるのなら新築をおすすめします。でも、家だけ残ってもしょうがないです。地震が起こったときに家の中にいるとは限りませんし。

育子さん | 私たちがそうだったように、つくりこま

れていない「ハコ」として、リノベーション済みのお家を選択というのもよいと思いますよ。

当時の設計担当から | 不特定多数に向けて造られる分譲マンションは「最大公約数」的な間取りになりがちです。このクラフトシリーズは「でも、実はこうなってる方が使いやすい人もいるんじゃないの?」という考えでリリースする住宅。バスルームの在り方や、住まいでの人の動線など、ドンピシャに暮らしていただいているようで設計者冥利に尽きます！

「クラフトアパートメント」としてリリースして以来、常廣さんまでに2組の方が住みました。

住み継ぎにまつわるそれぞれの声を、かつての住まい手のみなさんに聞いてみました！



最初の住まい手
伊東さん

【大阪からロンドンに赴任後、帰国。現在は東京在住】



2番めの住まい手
今高さん

【賃貸としてこの家に住まう。現在の住まいは「ACB 07号」で紹介】

Q1 | 選んだ理由は？

一目惚れ状態で購入を決定。リノベーションの仕様・デザインが二人とも気に入ったこと、月々のローン返済額が賃貸物件の家賃程度で購入できたこと、勤め先に近いなどの理由で購入。住みやすさに対する不安、売れるかどうかの不安は正直に言って全くありませんでした(笑)。



Q2 | 住んでみて、どんな変化や影響があった？

「職住近接」「都心に住むこと」の便利さ、快適さを実感しました。ロンドンに駐在したときは迷わず街中のフラットを借りました。また、マンション購入のときの重要ポイントが「場所」と「躯体」になりました。「内装」はリノベーション前提なので気にしません。

Q3 | 今の生活は？

現在は東京で、都心というにはやや遠いのですが、近くに大きな商店街、飲み屋街もあり、快適に生活しています。中古マンションを購入しており、将来的にリノベーションする予定です。

Q1 | 選んだ理由は？

結婚して2年目に大阪市内に引っ越すことになり、A&CのHPを見て、この物件が賃貸に出ており、すぐに見にいきました。玄関から入ってすぐのモルタルのキッチンとカウンターに一目惚れでした。南側の窓の下が公園だったので、窓の横のダイニングテーブルから外を眺めるのがだいすきでした。



Q2 | 住んでみて、どんな変化や影響があった？

リノベーション＝使い勝手が悪くてもデザインを選ぶ、だと思っていたのですが、きちんとデザインされたものは使い勝手がいい！ということに気づかされました。パストイレ洗面のまとまりやWIC/寝室への動線のスムーズさ。あと100%空間を自由に使いきれれるキッチンとか。具体的な暮らし方をイメージでき、将来の家づくりへの近道になりました。

Q3 | 今の生活は？

3年前に中古マンションの一室を購入し、リノベーションしました。イメージ通りの最高に居心地のいい家で、ふたりと一匹で暮らしています。

街だのな／第8回目

そよ風と重なって、
空の水色や、夜の黒色と重なって、
家具も家族も味がでてきて、
快適の間口が広がっていく。

放課後も、アイデアやマヌケさも

味がでてきて、

手やカラダを動かしたりしながら、

おどけたモノと 真面目なモノが重なったり、

「過去」と「現在」とが組み合わせあって

「未来」を遊んだ。

作り笑いにはだまされない「未来」と遊んだ。

力のみなぎるのを感じた。

力のみなぎる暮らしは 力いっぱい実在してる。

サイト掲載中の物件のなかから特にアツい物件をセレクト！ここに集めた物件たちは決してバランスがとれているわけではないけれど、ある部分が突出して魅力的。そこにハマるひとを待っています。なお、サイトにはまだまだ他にも物件を掲載しています。

*物件へのファーストコンタクトはサイトの各物件問合せフォームよりメールでお問い合わせください。▶www.realosakaestate.jp



リノベの素材に

谷六のクリント・イーストウッド

-
大阪市中央区谷町6
383.68平米
42万円



「クールな顔してるけど中身はお茶目」。ついつい外見と中身のギャップにやられてしまいます。ずるいですよね。このビルもそんな洒落なヤツになって欲しいです。いかにもな「元社長室」、今はもう動かないリフト、重厚感のある巨大な金庫、街灯のある屋上、こういった素材を活かしてユーモアたっぷりの空間にリノベーションしてください。



リノベの素材に

北摂 ダイナミズム

-
吹田市千里山西4
85.67平米
2,490万円



マンションというより基地？軍艦？起伏の多い千里山の地形を活かし、里道や公園を敷地内に取り込んだ配置計画や、各部屋の陽当たりを意識した雁行型のカタチ…。さすが、「第1回大阪まちなみ賞」受賞。団地全体の快適さがよく考えられた設計です。

RENT

共益費 | 賃料に含む
敷金 | 84万円 礼金 | 84万円
交通 | 地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線
「谷町六丁目駅」徒歩1分
構造と規模 | 鉄骨造4階 築年 | 1967年
所在階 | 1~4階(一棟) 取引態様 | 仲介

SALE

管理費 | 修繕積立金 | 9,550円 / 12,370円
交通 | 北大阪急行線「緑地公園駅」徒歩8分
構造と規模 | 鉄骨鉄筋コンクリート造11階建
築年月 | 1980年2月 所在階 | 8階
バルコニー面積 | 13.60平米
管理形態 | 全部委託(日勤) 取引態様 | 仲介



ここが「登竜門」

-
大阪市西区京町堀2
161.27平米
34万円



家主さんに聞くとところによれば、この物件、まさに「登竜門」。前の入居者はウェブ通販、その前は写真スタジオで成功したとか。1階は天井が高く、黒い壁はスタジオ時代の名残でしょうか。2階は対照的に木を基調としたぬくもりのある空間が。こんな事務所なら次々といいアイデアが浮かんできそうじゃないですか。



リノベの素材に

この子どもがうらやましい

-
大阪市中央区農人橋1
70.30平米
1,680万円



この家には広いバルコニーがあります。この家の子どもはバルコニーで兄弟じゃれあって遊べます。水泳キャップを忘れたら取りに帰れます。二重跳びの練習ができます。中学生になって野球部に入ったら素振りできます。バスケット部に入ったらハンドリングできます。高校生になったらペラндаで彼女と電話できます。…そんな生活ができる子どもがうらやましい。



手作りのぬくもり

-
大阪市西区京町堀1
26.4平米
6万8,250円



部屋に入ると目に飛び込んでくるユニークな棚！これ、家具づくりをお仕事にされているオーナーさんの手作りなんです。テーブルも椅子もカウンターも、これ全部、このお部屋に入ったらそのまま使えるんです！うーん、このカラフルな棚は何に使おうかしら。

RENT

共益費 | 賃料に含む
保証金 | 100万円 解約引 | 30万円
交通 | 地下鉄中央線・千日前線
「阿波座駅」徒歩6分
構造と規模 | 鉄骨造・一部木造3階建
築年 | 1960年 所在階 | 1~3階(一棟)
取引態様 | 仲介

SALE

管理費 | 修繕積立金 | 11,900円 / 14,600円
交通 | 地下鉄谷町線・中央線
「谷町四丁目駅」徒歩3分
構造と規模 | 鉄骨鉄筋コンクリート造11階建
築年月 | 1981年11月 所在階 | 3階
バルコニー面積 | 19.68平米
管理形態 | 全部委託(日勤) 取引態様 | 仲介

RENT

共益費 | 8,400円 礼金 | 262,500円
交通 | 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」徒歩7分
構造と規模 | 鉄筋コンクリート造4階建
築年 | 1963年 所在階 | 3階
取引態様 | 仲介

設計者にもリノベーションのススメ

④ 私事だが一級建築士になってもうすぐ20年になる。6年目くらいからリノベーションを始め、今や完全に「リノベ専業」だ。新築を専門とする設計者を野球の「先発投手」に喩えるなら、リノベーションの設計者は「抑え」のピッチャーだろうか。ピンチになった終盤にだけ登板して、試合をピンやりと締める地味な役割だ。いまや野球界であたりまえになったこの「投手の分業制」だが、かつては先発投手がいけるところまで投げ、調子良ければ勝つが打たれたら負け。いまより単純なものでも、中継ぎや抑えという役割は明確ではなかった。建築界も同様だ。新築を建てたらメンテもそこそこに突っ走る。そして、ほころびが出ればいっそ建て替えてきた。いわゆる「スクラップ・アンド・ビルド」されてきたわけで、悪くなったところを修繕する職人やリフォーム業者はいても、建物をトータルで再生するリノベーション建築士はいなかったし、必要ともされなかった。ところが、バカみたいに建て替えてきた経済成長期が終わり、そもそも建物はもう膨大に余ってるやんけという不都合な事実が明るみになり、資源の枯渇や自然破壊で環境問題もさすに無視できない状況になって、日本は簡単に新築できない時代はいよいよ突入した。そして新品にこだわらない、むしろユーズドのほうがカッコいいと言う世代が社会に登場する。そして昨今、彼らが住宅を取得したり、商売を始める年齢になり、世間でもリノベーションが一気に注目されるようになったという次第だ。

⑤ 時代は変わるもんだ。自分が建築学生だったときは、リノベーションの授業などなかったし、リノベーションという言葉さえ知らなかった。ところが、街の古い建物や歴史を大切に継いでゆくような、地域に根ざした設計活動をしたと言って、リノベーションの道へと進む建築学生も増えてきた。逆に、派手なデザインの建築を建てて注目を集めてきたこれまでの建築家像を、なんか自己顕示が強すぎてカッコわるいと嫌う人さえる。そのような状況を「いまの若いヤツはスケールが小さい。夢がない。何が地球に優しく生きるだ」と嘆く業界の先輩諸兄は少なくないが、とにかくトレンドはそちらへと向かいだした。せっかくリノベーション界で働こうかという若い人も増えてきたんだから、リノベーションの良いところ、楽しいところをこの場で整理しておきたい。これまでリノベーションに関して「ユーザー」のメリットはいろんな所で語られてきたが、意外と「設計者」のメリットを聞く機会は少なかったのではないだろうか。建築の専門じゃないという方

にも、へー、そうなのねと、読み進めていただけると幸いである。

⑥ では、始めよう。

「リノベーションのいいところTOP3(設計者編)」

第3位「若い人こそリノベーション」

概してリノベーションより、新築の方が仕事の規模が大きく、扱う範囲も広い。だから、より実力がつくと思われがちだがそうでもない。むしろ逆だと考えている。数年かけて一つの建物を完成させる新築と違い、プロジェクトのサイクルが短いリノベーションでは、設計者はあれもこれもと様々なタイプの仕事を短期間で経験できる。また先人が造った建物と向き合いながら再生するリノベーションは、当時の新築行為を逆戻りで追体験することができる。どうということかと言うと、若い大工にリノベーション工事の解体を手作業でさせ、当時の大工がどうやってそれを造ったのかを覚えさせる棟梁がいる。設計者でも、リノベーションを経験すればするほど、逆に新築が見えてくるというわけだ。他にも、いざ壁や天井を壊してみると予定のハプニングが多々起こるのがリノベーション。そんなときは現場で職人と話し合いながら解決してゆくことも多く、机上で考えがちな新築より、生の建築体験を短期間に積めるのである。ということで、「3年でとりあえず一人前!」。生涯に渡って通用する建築設計の幅広い基礎が、わずかな期間で磨けるというのがリノベーションなのだ。だから将来は新築に進もうが、まずはリノベーションから始めるのがお奨めだ。実際、3年で新築を1-2軒完成させた者より、何軒ものリノベーションをやった設計者の方が間違いなく使いものになる。

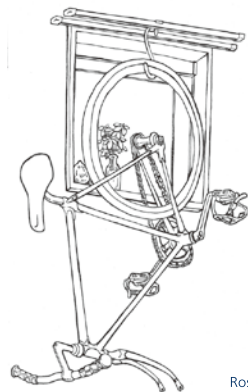
第2位「リノベーションは窮屈じゃない」

世間では消費者保護の名の下に、あらゆる業界で事業者の行動を規制監視する法律が増殖している。ずさんな仕事を一部の悪徳業者の存在が、監督官庁をそう走らせるのだから、建築業界でも2005年の耐震偽装問題(姉歯事件)を契機に、アレはだめ、コレもだめ。アレを提出しろ、コレもしろと、世間の信用をなくした建築士はやるべき事務仕事ばかりが増殖し、決められたことをするだけで手一杯になってしまった。本来やるべきクリエイティビ

中谷ノボル | 1964年大阪生まれ。建築家(アートアンドクラフト代表)。自称「住まいの求道者」。これまで長屋、倉庫、キャンピングカーまでリノベーションして暮らしてきた。2010年、HOSTEL 64 Osaka開業。2012年、Arts&Crafts沖縄事務所を開設。美ら海に沈む夕陽を拝む。



ティを發揮するなど、時間的にも体力的にもまったく出来やしない状況である。規制が社会の成長を妨げていると言われながらも変れない日本。現場でどんなに良いアイデアが浮かばうとも、当初の設計図から途中で一切変更できなくなった現在のシステムは、消費者保護と言いながら、ユーザーだけでなく関係者全員にとって不幸を招いている。幸いなことに、と言っていいのか、実は住宅リノベーションの多くの場合、法律上は建築士の資格がなくても設計してよい。面倒な建築確認申請も、ほとんどの場合で必要ない。自社では資格を必要とする仕事も請けるので建築士ばかりが働いているが、これからの人は、難関な建築士試験などに執着せず、国の規制か



Ross Siu

ら自由に、無資格で、リノベーションの仕事をがんがんやればいい。知るがぎり、この窮屈な状況とは無縁のリノベーション業界には、いままほき活きと働いている設計者が多い。また、リノベーションの歴史がまだ浅いので、あだこうだと偉そうに言う上司が会社に少ないということも付け加えておこう。既存の建物を再生するので、とかく制約が多いと思われがちなりリノベーションだが、実は窮屈じゃない。むしろ自由なのである。

第1位「リノベーションがおもしろい」

記念すべき第1位としては、えらく直球だが、思いのほかリノベーションはオモロいのである。イケイケどんどの時代は、ビルや住宅の設計を依頼する施主も思い切っ

たことを言うおもしろい人がいた。だから'60-'70年代の建物は今も魅力あるものが多い。だが、失われた20年がいまだ続く日本で、誰が当時のような大胆な新築の依頼をするであろう。みんな失敗したくないので、無難な仕事しかやってこない。特別なことを試みて失敗したら、担当者や雇われ社長が困るだけだ。ところがである。そもそもリノベーションというのは、建物の現状に問題があって、はじめて依頼される仕事だ。このままではどうにもならない。前の使い方は破綻した。とにかく変えてほしい。なんとかしてくれ。そう、現状を大胆に改革することを求められているのである。むしろ、これはないヤロと提案しておいた「当て馬」的な案が通ってしまい慌てることもあるくらいだ。中でも、使い方そのものを変えてしまう「コンバージョン」というジャンルは楽しい。でっかい倉庫を住宅にしたり、オフィスビルをアパートに用途転用したり。新築ではまず造らないタイプの、というか、自分では絶対と思いつかない住宅やアパートが出来上がることもある。これは設計者にとって自分の才能が拡張したような感覚で、もしかして天才って錯覚するからヤバい。対象とする建物が、決して若くはないというのもし。ぱっとしないオヤジや、オンナとして自信を失いかけているような建物を、見違えるような人氣者に仕立て上げると、いいことをしたと本心から思えるのだ。だから建物からとても感謝される仕事でもある。「ありがと! 自信が復活してまた人生が楽しくなりそうだわ」。そう聞こえてくることもある。これホント。こうなればリノベーションにやみつき。つまり中毒。

⑦ とまあ最後は「おもしろい」などという、ビストロートな表現になってしまったが、リノベーションのいいところや楽しみが、みなさんに伝わっただろうか。先に触れたように、不況だからではなく、社会の構造的に新築仕事が減っている。今で最盛期から半減、今後さらに減る。そしてリノベーションが必要な余剰建物がますます増えるだろう。どんどん再生しまっせー!

今月のartwork | Ross Siu |

1981年香港生まれ。7歳でカナダに移住。現在は大阪在住。人を描くのが好きで、最近では色鉛筆と水彩を使うことが多い。来年からドイツへ移住予定。「本気の日本料理を食べられなくなるのが悲しいです」 <http://rosudesu.blogspot.jp/>



第2特集



この床の傷は妻がテーブルを投げてできた傷です



リノベーションがひろがる背景には、単なる流行ではなくこの10年の住まい手の推移が関係しているようす。覗いてみると20-30代のリアルな価値観が見えてきました。

どんな世代？

団塊ジュニア世代[1971-1975]

現在37-41才の人たち。

第二次ベビーブーム世代として生まれ、物質的に豊かな世代に育つ。バブル崩壊後就職氷河期を経験。

ポスト団塊ジュニア世代[1976-1985]

現在27-36才の人たち。

バブル崩壊時には小-中学生。好景気や経済成長をリアルに感じることのないまま育った世代。

Q住まいとは、家族の思い出を刻む場所だと思う

この床の傷は妻がテーブルを投げてできた傷です。



Q住まいとは、ライフスタイルや個性をあらわすもの

「どんな家欲しい？」に対する答えは、「どんな時計ほしい?」「どんなイス欲しい?」なんかの質問に対する答えとたぶん同じスタンスだと思う。



Q大きな買い物をする場合、口コミを頼りにします

偉そうなヒトより、隣の誰かの意見を信じたい気がする。



A そう思う | B そう思わない

20代 A83.5 B3.1

30代 A78.6 B3

40代 A70.7 B5.3

50代 A72.0 B4.8

解説 | 単なるハコとしての機能面のみでなく情緒的側面を大切にしていることがわかる。

A そう思う | B そう思わない

20代 A69.2 B3.95

30代 A60.7 B7.8

40代 A57.2 B7.5

50代 A59.8 B6.3

解説 | テレビを中心にしたリビングという概念よりも、家族が居心地よく過ごせる家とはどんな家なのかを熱心に考える。

A そう思う | B そう思わない

20代 A64.3 B7.8

30代 A57.5 B8.2

40代 A49.5 B10.9

50代 A42.5 B13.0

解説 | “マス”に対する共感性の低さ、リアルなネットを問わず、積極的に情報収集を行う姿勢が若くなるにつれ顕著。

まとめ | これをみて自分を測られたような違和感を感じた人はそれもひとつ、自分らしさを求める世代のしるしかも？みんなが同じ憧れをいだいていた時代とは明らかに違う価値観が広まっています。住まいの選択肢だって幾通りにも増えています。過去のどの世代にもなかった、自由で多様な住まいがこれからあふれ出しはじめる予感をヒンヒンと感じています。“こんなふうに暮らしたい!”, どんどんお寄せ下さい。とんでもない相談も受け止めますよ。

リクルート住宅総研『ポスト団塊ジュニア考』(2006年)より作成



vol.12 梁

まだがんばってます！

古い建物をリノベーションしたその現場で、まだ生き残っているモノたちが語ります。

まだがんばってます？何を言うてんねん。なりたくてこうなったわけちゃうねんで。みんなからいつも「邪魔や」とか「どうにかなれへんのか」とか言われて…すごいきつくなってん。そんなん言うけどな、仕方ないやんか、俺かって天井にひっこみたいていつも思ってたわ。まあ…時代は変わったけど、オレら躯体組の中でも…躯体組知らん？構造上重要な柱、梁、壁、床なんかがそうやな。要はマンションを支える構造の一部ってことやな。ほんでや、その中でも壁と天井はちゃうねん。あいつらはクロスをとって、コンクリート面をむきだしにするとかいてて人気出てるし、よおがんばってると思うわ。オレはいくらコンクリートむきだしにしちり色塗ったりしたって、邪魔は邪魔、結局こうやってしか生きられへん、っしょーもない邪魔な躯体やわ。…え？今回の壁の白との塗り分けはカッコいい?? そんな一部にしかウケへんやろ。まあなんでもええけど、今日も重たい荷重、支えにいってくるわ！

中・高層マンションではほとんどの物件が柱・梁のフレームで建物を支える構造である。荷重に対して抵抗するため、柱と梁は非常に太いものでなければならない。案内の場で必ずといっていいほど「これはとれるんですか?」と聞かれるが、住んでしまうとそんなに気にならないという意見もある。

ACB

Arts & Crafts Book issue 13

editor's notes

10年ひと昔。リノベーションが、ブームを超えて「フツー」になりました。新築?中古住宅?いえ、気に入った住まいがたまたまリノベーションだった。定着した今だからこそ、フツーの「この先を見てみたい」。今回そう思いました。



アスファルトの照り返しを浴びながら自転車日々爆走する私たち。この秋は福島区がアツくなる予定。いろいろ企画しています、新しい情報はこちらでチェック!

HP | www.a-crafts.co.jp

FB | www.facebook.com/artsandcrafts.jp

TWITTER | twitter.com/#!/Arts_Crafts



発行日 2012年8月18日

発行人 中谷ノボル アートアンドクラフト

編集 伊藤麻美子 岡崎麗

写真 竹内厚(Re:S)

写真 増田好郎

デザイン 大西正一

制作・発行

Arts&Crafts 均質化されていない住まい
あたらしい都市住居のスタイル

株式会社 アート アンド クラフト

550-0003 大阪市西区京町堀1-13-24-1F

TEL | 06-6443-1350

営業時間 | 10:00-18:00 水日祝休

一級建築士事務所 大阪府(口)第21250号

宅地建物取引業 大阪府知事(3)第46315号

建設業免許 大阪府知事(般・23)第116939号

(社)近畿地区不動産取引協議会会員